

「結」

校長 嶋見 靖之



今日で81日間の2学期が終わりました。子ども達は、たくさんの行事、日々の学習、遊びなどに取り組み、充実した日々を送りました。学級だよりを見ると、思い出や頑張ったことが綴られており、子ども達にとって心に残る2学期だったようです。あわせて、始業式で話した「めあてに向かって、やり抜く」や「仲間とともに〇〇合う」に向かって取り組んだ充実した学期でした。

前号で紹介しましたように、12月2日（土）に青少協主催のもちつき大会がありました。役員の皆様や保護者の皆様のご尽力により、子ども達はもちつきを楽しみ、おいしいおもちをいただきました。臼と杵でついたおもちは、のびが違い、格別のおいしさでした。日本の伝統文化のよさを味わった一日でした。

開会式で、青少協会長の荒木久夫さんから、「結（い）」について紹介いただきました。田植えや稲刈り、もちつきといった人手が要るときに、近所同士で手伝いに行き来することを「結」と言うのだそうです。

外海府小学校閉校記念誌の中に、「先人の残した共同・互助の精神的美風」という言葉がありました。お互いに助け合い、お互いを支え合うことを地域の基盤として感じました。もちつきは「共同・互助」の具体的な姿でした。これから求められる持続可能社会を形成するために大切なことを、子ども達は地域から学びました。

「共同・互助」は、時代を超えて家庭や地域の中で育まれていきます。学校でも「共同・互助」につながる「仲間とともに〇〇合う」を大事にしていきたいと思えます。

平成29年、高千小学校へのご支援やご協力、激励をいただき、ありがとうございました。平成30年もよろしく願いいたします。よい年をお迎えください。